

ガスふろがま

取扱説明書

保証書付



特定保守製品

品 名 GF-A130E

型式名 GF-A130E



このたびはガスふろがまをお買い上げ
いただきましてありがとうございます。

この製品は『消費生活用製品安全法』に指定された**特定保守製品**です。(→P.15)

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいた
だき、十分理解したうえで正しくご使用ください。

この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。

内容をよくご確認ください。

この機器は浴室外設置形ですので、浴室には絶対に設
置しないでください。

この取扱説明書は、いつでもご覧になれる身近なところ
へ大切に保管してください。

取扱説明書を紛失された場合は、お買い上げの販売店、
または弊社窓口へご連絡ください。

その際、機器本体の銘板をご覧のうえ、品名・製造年月
をお知らせください。

もくじ

ページ

製品の特長	1
安全に正しくお使いいただくために	1
この取扱説明書の表示について	1
機器本体の表示について	1
必ずお守りください	1
各部の名称とはたらき	6
機器本体	6
浴室リモコン	6
浴槽	7

お使いいただく前に

ご利用前の準備	7
機器の準備	7
浴室リモコンを「入」にする	7
おふろを沸かすには	8
ふろ温度の設定	8
保温時間の設定	8
おふろ沸かしを行う	9
保温を行う	10
沸かし直しをするには	10
ぬるくなったお湯を熱くするには(追いだき)	11
追いだきを行う	11

使い方

冬期の凍結予防をするには	12
凍結予防装置による方法(通常の寒さ)	12
機器内の水を抜く方法	12
再使用する時	12
故障かな?と思ったら	13
浴室リモコンのアラーム表示	14
長期使用製品安全点検制度	15
点検のポイント・お手入れのしかた	17
点検・お手入れの際のご注意	17
点検のポイント(月1回程度)	17
定期点検のおすすめ(有料)	17
お手入れのしかた(月1回程度)	17
仕様一覧	19
アフターサービスについて	20
保証書	裏表紙

長くお使いいただくために



製品の特長

- 浴槽のお湯はポンプによって循環してほぼ均一に沸き上げるため、上下の温度差が少ないです。
- 沸き上がりから保温設定時間内は浴槽の湯温を約15～30分ごとに検知し、設定温度より下がっていたら、自動的にあたためます。(→P. 10 参照)
- スイッチを押すだけの簡単操作でぬるくなったお湯を熱くすることができます。(→P. 11 参照)
- 冬期、気温が下がると自動的に作動し、凍結を予防するヒータが組み込まれています。(→P. 12 参照)
- 機器が不完全燃焼を起こす前に自動消火する、不完全燃焼防止装置付です。

安全に正しくお使いいただくために

■この取扱説明書の表示について

この取扱説明書では、機器を正しくお使いいただき万一の事故を未然に防ぐため、以下のような表示で注意を呼びかけています。

⚠ 危険

この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う危険、または火災の危険性が切迫して生じることが想定される内容を示しています。

⚠ 警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示については次のような意味があります。



一般的な禁止



火気禁止



接触禁止



分解禁止



必ず行う



電源プラグを抜け



アースを接続せよ

お願い

ご使用になるときに、よく理解していただきたい内容を示しています。

(→P. XX 参照) 参照ページを示しています。

■機器本体の表示について

やけど注意

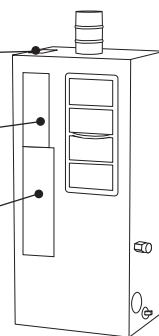
- 排気筒や周囲が高温になるため、やけど注意を表示しています。

銘板 特定保守製品

- 品名・型式名・使用ガスの種類・製造年月・製造事業者等を表示しています。

使用上の注意

- 使用上の注意について表示しています。



必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために、この内容は必ずお読みください。

⚠ 危険

浴室設置の禁止

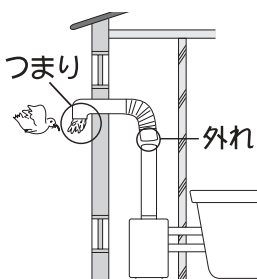
- この機器は浴室外設置形ですので絶対に浴室内に設置しない。
一酸化炭素中毒の原因となります。

排気筒の定期点検

- 排気筒(排気筒トップを含む)が外れていたり、鳥の巣・落葉・ススなどで詰まっていないか定期点検をする。
詰まっていると排気ガスが屋内に漏れて、一酸化炭素中毒の原因となり危険です。



禁止



必ずお守りください

⚠ 危険

ガス漏れ時の処置

- ガス漏れに気づいたときは、
 - ①すぐに機器の使用をやめて、ガス栓を閉じる。またメーターのガス栓も閉じる。
 - ②窓や戸を開け、ガスを外に出す。
 - ③お買い上げの販売店、または最寄りのガス事業者（供給業者）に連絡する。

- すべての処置が終わるまでの間、絶対に
 - ・火をつけない
 - ・電気器具のスイッチの入・切をしない
 - ・電源プラグの抜き差しをしない
 - ・周辺の電話を使用しない炎や火花で引火し、火災のおそれがあります。



火気禁止

⚠ 警告

機器設置（および付帯工事）

- 機器の設置・移動および付帯工事は、お買い上げの販売店、または弊社窓口へ依頼し、安全な位置に正しく設置する。
設置工事に不備があると事故の原因になります。
- この機器は屋内設置形ですので、屋外に設置しない。
雨水の浸入などで、故障の原因となります。



ガス接続について

禁止

- この機器のガス管の接続はねじ接続です。工事には専門の資格、技術が必要です。機器の設置、移動、取り外しの際には、必ずお買い上げの販売店、または弊社窓口へご相談ください。

換気注意

- 換気口・給気口は常に確保し、物などで塞がない。
また、機器を使用する際は台所や脱衣所などのレンジフードや換気扇を使用しない。室内に排気が入って一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。

排気筒トップに囲いをしない

- 増改築などによって排気筒トップを屋内状態にしたり、ビニールや波板などで囲いをしない。一酸化炭素中毒や火災の原因になります。

機器本体に無理な力を加えない

- 機器の本体やガスの接続部などに乗らない。けがや機器の変形などによるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。

お子様には十分な注意を

- 浴槽の循環口付近でお湯（水）に潜ったりしない。
特に小さなお子様のいるご家庭では注意してください。思わぬ事故につながる可能性があります。
- お風呂を沸かしているときに、お子様を浴室で遊ばせない。
思わぬ事故につながる可能性があります。



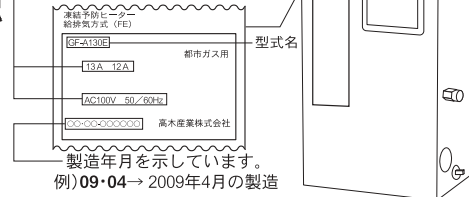
機器の銘板を確認

- 機器の銘板（機器前面に貼付）に表示してあるガス種（ガスグループ）および電源（電圧・周波数）で使用する。ガス種および電源が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、爆発着火によるやけどをしたり、機器が故障する場合があります。
- 転居時の注意は（→P. 20 参照）



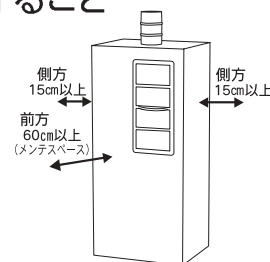
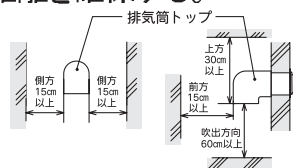
ガス種・電源を確認

●この機器はAC100V 50/60Hz共用です。
この部分を必ずご確認ください。
(例: 都市ガス12A13Aの場合)
CF-A130E
13A 12A
都市ガス用
AC100V 50/60Hz
高木産業株式会社
製造年月を示しています。
例) 09・04 → 2009年4月の製造



火災予防のために必ず守ること

機器周辺のものとは常に図の
離隔距離を確保する。



- 機器および排気筒トップの周辺には紙や木材など燃えやすいものを置かない。火災の原因となります。
- 機器の周辺ではガソリン、ベンジン、スプレーなど引火のおそれのあるものを使用しない。引火して火災を起こすおそれがあります。
- 機器の周辺や上にスプレー缶、カセットコンロ用ボンベを置かない。熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発のおそれがあります。
- 給気口や排気筒トップは洗濯物などでおおわない。不完全燃焼の原因となります。



禁止



必ずお守りください

警告

分解禁止

- お客様ご自身では絶対に分解したり修理・改造は行わない。異常作動して事故の原因となります。
- 安全装置（空だき安全装置等）の分解・取り外しは絶対行わない。事故や火災・故障の原因となります。



分解禁止

異常時の処置について

- ①使用中で火が消える場合は、ただちに使用を中止してガス栓を閉じる。
- ②本書の「故障かな?と思ったら」(→P. 13, 14 参照)に従って処置をする。
- ③上記の処置をしても直らない場合、または、使用中に異常な燃焼や臭気、異常音を感じた場合は、使用を中止してお買い上げの販売店、または弊社窓口へ連絡する。



ガス栓を閉じる



注意

電気事故防止

- 電源コードを切断して延長はしない。電源コードがコンセントに届く範囲としてください。感電や発火の原因になります。
- 電源プラグは根元まで完全に差し込む。差し込みが不完全な場合、感電・発火の原因になります。傷んだプラグ、緩んだコンセントは使わないでください。
- 濡れた手で電源プラグをさわらない。感電のおそれがあります。



禁止



- 電源プラグのほこりなどは、定期的にとる。電源プラグのほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。
- コンセントから電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜く。コードを引っ張ると破損して感電や火災の原因になります。
- コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。
- この機器は接地工事（アース）が必要なので、アースがされているか確認する。



アースを接続せよ

地震・火事などの緊急時の場合

- 迅速に使用を中止し、ガス栓を閉じる。

やけどに注意

- 機器の使用中最も使用後しばらくは、排気筒（排気筒トップを含む）とその周辺部に絶対に手を触れない。高温になっていますのでやけどのおそれがあります。



接触禁止

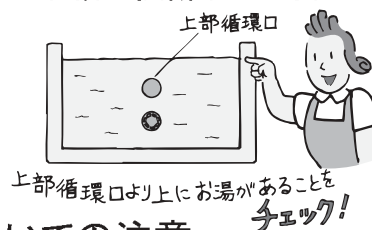


入浴時の注意

- 浴槽に入るときは、手で湯温を確認して入浴する。また、浴槽中のお湯は上下に温度差があることがありますのでご注意ください。
- おふろ沸かし（沸かし直し）や追いだき時には、上部循環口付近が熱くなっていることがあるので注意する。

空だき防止

- 保温スイッチ・追いだきスイッチを押すときは、必ず浴槽の上部循環口より上に、水（湯）が入っていることを確かめる。水位が低いと、空だきによる機器の故障や浴槽の損傷などの原因となることがあります。



用途についての注意

- 一般家庭でのおふろ沸かし以外の用途には使用しない。思わぬ事故につながる可能性があります。
- 車両・船舶への搭載はしない。振動により機器が転倒し、火災や機器故障の原因になります。

長期間使用しない場合

- 長期間使用しないときは、ガスの元栓を閉じてください。

必ずお守りください

お願い

市販の補助用具について

- 事故防止のため、この機器の純正部品以外は使用しないでください。
- 市販品の湯冷め防止器などは使用しないでください。

浴室リモコンの扱いについて

- 浴室リモコンは分解しないでください。誤動作や故障の原因となります。
- 浴室リモコンは防水タイプですが故意に水をかけないでください。
- 浴室リモコンはお子様がいいたずらしないよう注意してください。



分解禁止



禁止



特監法対象機器

- この機器は、法的資格を有する者以外は設置または移設できません。また、機器に下のようなシールが貼付してあるか確認してください。シールが剥がれていない場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

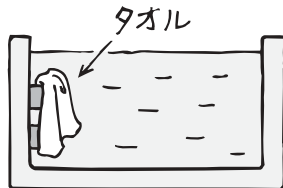
特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律第6条の規定による表示	
工事事業者の氏名 又は名称及び連絡先	TEL
監督者の氏名	
資格証の番号	
施工内容及び 施工年月日	年 月 日

入浴時の注意

- 循環口カバーを外して、お子様がオモチャ等を入れて遊ばないように注意してください。機器の故障の原因になります。
- 浴槽の循環口をタオルなどでふさがないでください。循環不良によりおふろ沸かしができなくなったり、機器の故障の原因になります。



禁止



ガス事故防止のために

- 使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中も正常に燃焼していることを浴室リモコンの燃焼表示で確認してください。

電源プラグを抜かない

- お手入れの際や長期間使用しない場合、および凍結防止のため水抜きを行うとき以外は、電源プラグを抜かないでください。

長期間使用しないときは

- この取扱説明書「機器内の水を抜く方法」(→P. 12 参照)に従って、水抜きを行ってください。おこたると冬期に凍結する場合があります。



雷が発生しているときの注意

- 雷が鳴り始めたらすみやかに運転を停止し、感電に注意して電源プラグをコンセントから抜いてください。雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。



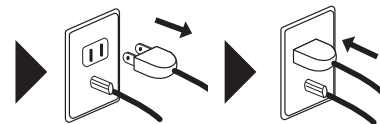
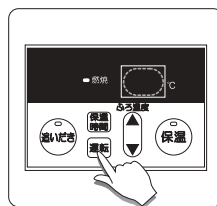
電源プラグを抜け



雷が鳴ったあと機器が作動しないとき

- 落雷の際に、機器内の漏電スイッチが作動したことが考えられます。この場合は電源プラグを一度コンセントから抜き、再度差し込んでください。それでも使用できないときはお買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。

押しても画面に表示しない



電源プラグを抜いて差し込む

凍結についての注意

- 凍結のおそれがあるときは、この取扱説明書の「冬期の凍結予防をするには」(→P. 12 参照)に従って処置してください。おこたると機器内の水が凍って機器が破損することがあります。

凍結したとき

- 凍結したままでは絶対に使用しないでください。
- 凍結がとけたあと再使用するときは、機器および配管から水漏れがないことを確認後、「機器の準備」(→P. 7 参照)の項以下の操作を行ってください。
- 機器や配管が損傷した場合、高額な修理費がかかります。(有料)

停電時または電源プラグを抜いたとき

- この機器は、停電時や電源プラグを抜いたときは使用できません。
- 停電または電源プラグをコンセントから抜いた場合は、浴室リモコンの再設定(ふろ温度・保温時間)を行い、表示を確認したあとご使用ください。
- おふろを沸かししているときに、停電になると、おふろ沸かしが停止します。通電後、「おふろを沸かすには」(→P. 8 参照)の項以下の操作を行ってください。

必ずお守りください

お願い

日常の点検・お手入れ

- 安全にお使いいただくために、点検・お手入れは月1回程度必ず行ってください。(→P. 17, 18参照)
- 故障または破損したと思われるときは使用しないでください。このときご家庭で修理せず、お買い上げの販売店、または弊社窓口へご相談ください。
- 循環口フィルターはこまめに掃除してください。浴槽内の循環口フィルターが詰まると、浴槽の湯温が不均一になったり、沸き上がる前に消火することがあります。
- 浴槽が水中の微量の銅イオンと脂肪分(湯アカ)により青く着色することがあります。日々、浴槽のお手入れをするとともに、万一着色した場合はクレンザーやアンモニア水(10%程度)等で拭き取ってください。

この機器は一般家庭用です

- 業務用のような使い方をされると機器の寿命を著しく縮めます。この場合の修理は保証期間内でも有料となります。

スプレー使用禁止

- 機器の運転中に機器近くでシリコン系スプレーを使わないでください。故障の原因になります。

入浴剤や洗剤についての注意

- 強酸、強アルカリの洗剤および、硫黄、酸を含んだ入浴剤は、機器の性能低下や熱交換器等が腐食する原因となりますので使用しないでください。入浴剤の含有成分等を確認し機器への悪影響がないものをご使用ください。
- ふろ用洗剤または乳白色や白濁する入浴剤のなかには、沈殿物が熱交換器にたまって異音が発生したり、フィルターやお湯の通路にたまって動作不良を起こすことがあります。沈殿物を生じないものでも熱交換器内で沸騰を起こし異音が発生することがあります。このような入浴剤はご使用を避けてください。
- 薬草やゆず、薬草入り入浴剤の場合は、薬草などがフィルターや機器内部につまることがありますので、ご使用を避けてください。



禁 止



お願い 設置する場所や状況について

設置場所について

- 設置場所をお決めになるときは近隣の家が運転音(燃烧音、燃烧ファン、ポンプ回転音)で迷惑にならない場所に設置してください。(工事担当者にご相談ください)
- 壁などを増設する場合は、機器の点検・修理のため空間を確保し空気の流れが停滞しないように考慮する。機器の点検修理のためと燃烧不良の発生を防止するためです。

給排気について

- 機器は給気・排気が十分できる場所に設置してください。給排気が不十分な場所に設置すると不完全燃烧の原因となります。

ほこり

- 砂や油煙、ペットの毛など、ほこりのたちやすい場所には設置しないでください。ほこりが給気口を塞いだり、燃烧用の送風機の性能を低下させ、不完全燃烧の原因となります。

地下水や温泉水、井戸水の注意

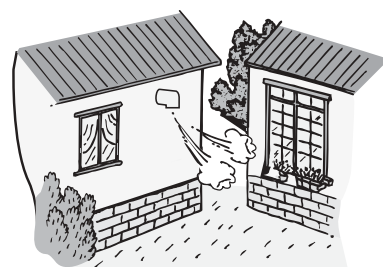
- この機器は上水道用です。水質によっては、機器内の配管内部に異物が付着したり、配管に穴が開くなど耐久性を損なう場合や、機器が正しく作動しないことがあります。この場合、保証期間内でも有料修理となります。

排気ガス

- 増改築時には、燃烧排気ガスが直接建物の外壁や窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに当たらないようにしてください。変色・破損・腐食の原因になります。
- 排気筒トップの周囲には、排気ガスによって加熱されて困るもの(危険物・植物・ペットなど)を置かないでください。

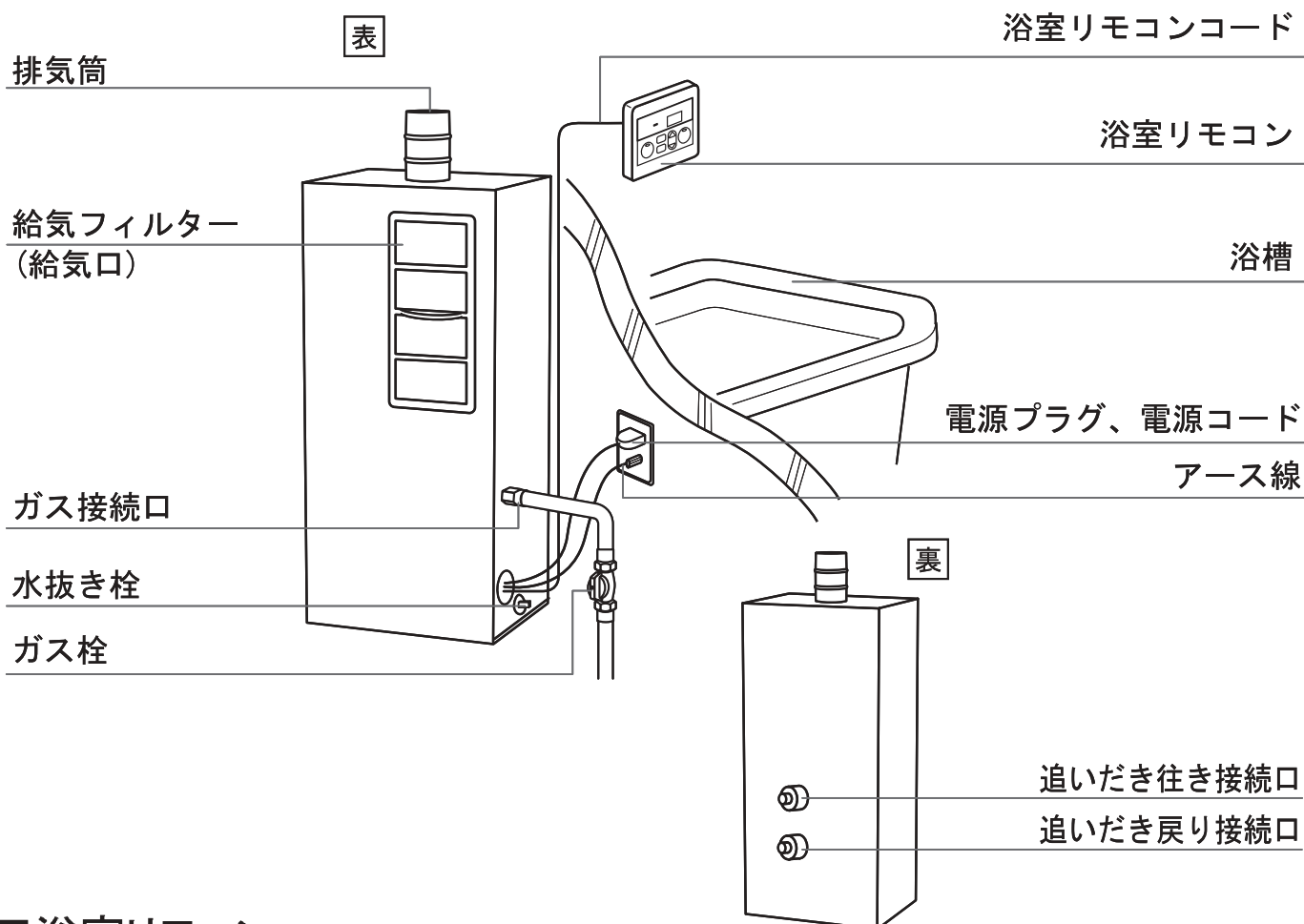


禁 止



各部の名称とはたらき

■機器本体



■浴室リモコン

※図のリモコンの表示画面は説明用で、実際の運転状態を示すものではありません。

保温時間スイッチ

保温時間を設定するときに押します。
(→P. 8参照)

燃焼ランプ

機器が燃焼中に赤で点灯します。

追いだきランプ

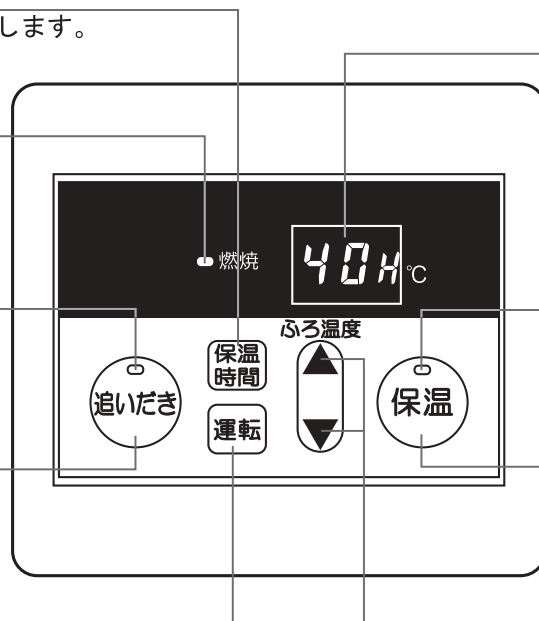
追いだき中に赤で点灯します。
(→P. 11参照)

追いだきスイッチ

お風呂がぬるくて熱くしたいときに押します。
(→P. 11参照)

運転スイッチ

操作するときに最初に押して「入」にします。
ふろ温度を表示します。



表示画面

ふろ温度や保温時間を表示します。
(→P. 8参照)

〔ふろ温度表示時〕 〔保温時間表示時〕

40

4H

保温ランプ

お風呂沸かしや保温運転中に緑で点灯します。
(→P. 9, 10参照)

保温スイッチ

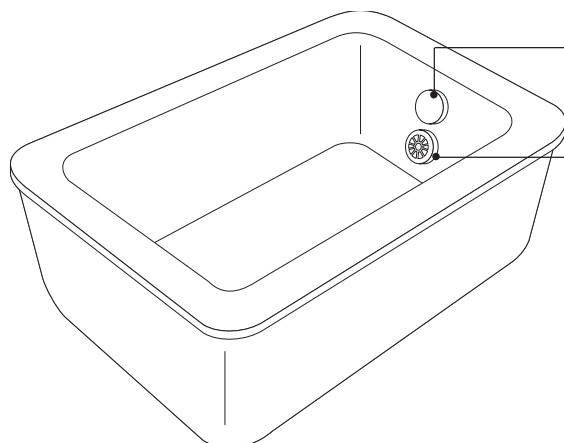
設定した温度でお風呂を沸かし、設定した時間で保温をします。
(→P. 9, 10参照)

ふろ温度設定スイッチ

ふろ温度・保温時間を調節するときに使用します。

各部の名称とはたらき

■浴槽（別売品）



循環カバー（上部循環口）

循環口フィルター（下部循環口）

掃除のときに外します。（→P. 18 参照）

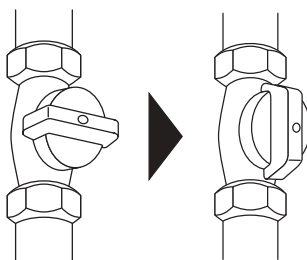
ご利用前の準備

はじめてお使いになるときは、まず屋内にある機器の準備をします。準備ができれば、浴室リモコンのスイッチを入れてみましょう。

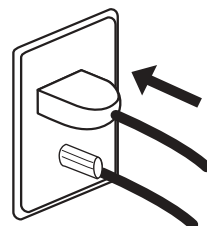
■機器の準備

1 この取扱説明書の「点検のポイント」（→P. 17 参照）の内容に従って、機器や機器周辺の点検・確認を行います。

2 ガス栓を全開にします。
機器の側部にあります。

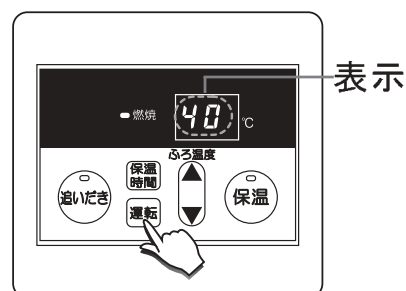


3 電源プラグをコンセントに差し込みます。
コンセントは機器周辺にあります。
アースが接続されていることも、確認してください。



■浴室リモコンを「入」にする

1 浴室リモコンの**運転スイッチ**を押します。
浴室リモコンの表示画面にふろ温度が表示されます。
使わないときは、**運転スイッチ**をもう一度押します。
浴室リモコンが「切」の状態になり、画面表示が消えます。



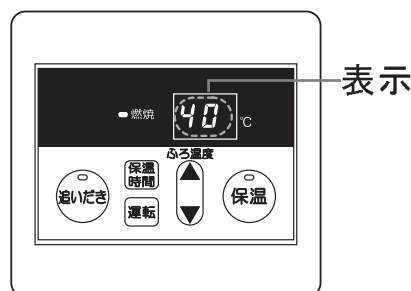
●出荷時のふろ温度は40°Cになっています。

お風呂を沸かすには

■ふろ温度の設定 沸き上がりの温度を設定します。

1 浴室リモコンが「入」になっていることを確認します。

浴室リモコンが「切」のときは、**運転**スイッチを押します。



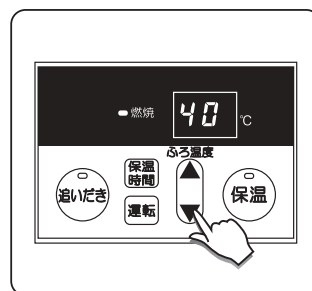
2 ふろ温度を高くしたいときは▲スイッチを、低くしたいときは▼スイッチを押します。

スイッチを1回押すたびに1°Cずつふろ温度が上下します。37°C~48°Cの範囲(12段階)で設定できます。

ご使用の目安 (単位:°C)

37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
ぬるい			標準								あつい

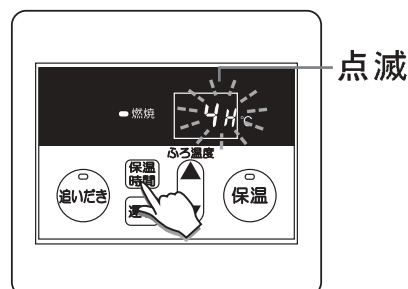
40:工場出荷時



■保温時間の設定 浴槽のお湯をどのくらいの時間、保温するかを設定します。

1 保温時間スイッチを押します。

保温時間表示が点滅します。



2 保温時間を長くしたいときは▲スイッチを、短くしたいときは▼スイッチを押します。

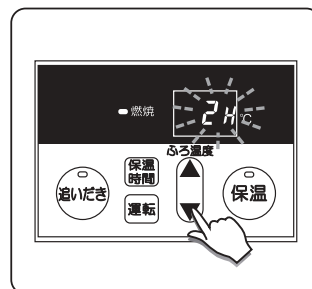
▲または▼スイッチを、保温時間表示が点滅している間(約10秒間)に押します。

0	1	2	3	4	5	6	7	8
(単位:時間)								

4:工場出荷時

※保温しない場合は、“0”に設定してください。

▲・▼スイッチで入力後、しばらくたつとふろ温度表示に戻ります。



❗ご注意ください

●ふろ温度・保温時間を設定範囲外に設定しようとすると“ピピピピピ”と警告音が鳴ります。



●設定は記憶されるので、次回からはセットする必要がありません。ただし、電源プラグを抜いたり停電したときは、工場出荷時の設定に戻りますので再セットが必要です。

お風呂を沸かすには

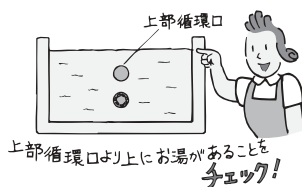
■お風呂沸かしを行う お好みの設定ができたなら、お風呂を沸かします。

準備

①排水栓をします。



②浴槽へ水をためます。
上部循環口より上の位置になるようにためます。

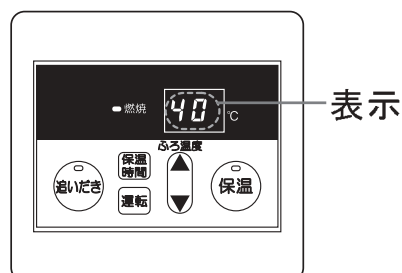


③浴槽のふたをします。



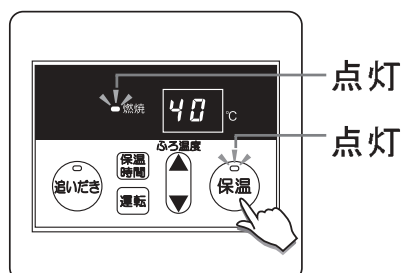
1 浴室リモコンが「入」になっていることを確認します。

表示されていないときは、**運転スイッチ**を押します。



2 保温スイッチを押します。

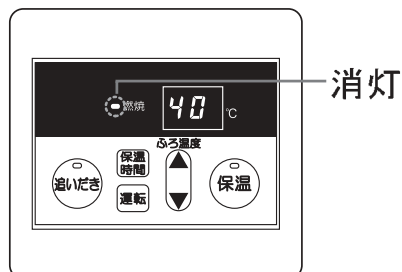
浴室リモコンの保温ランプ(緑)が点灯します。
しばらくすると、燃焼ランプ(赤)が点灯し、お風呂沸かしが始まります。



設定されている温度でお風呂が沸き上がります。
燃焼ランプ(赤)が消灯します。
(保温時間を“0H”で設定している場合は、保温ランプ(緑)も消灯します)

入浴できます。

入浴の際は念のため、湯かげんを手で確かめてください。



浴室リモコンは沸き上がり時にチャイムを鳴らすことができます

保温スイッチを押してお風呂を沸かした場合、沸き上がり時に「ピロ・ピロ・ピロ・ピロ・・・」と約10秒間チャイムを鳴らして、お風呂が沸いたことをお知らせする“お知らせチャイム”の設定をすることができます。

設定 保温時間スイッチを10秒押し続けます。“ピッピッ”と鳴り、設定されたことをお知らせします。

解除 再度保温時間スイッチを10秒押し続けます。“ポッ”と鳴り、解除されたことをお知らせします。

※工場出荷時は、チャイムの設定がされていません。

⚠ **注意** ●浴槽へ水をためるときは、必ず上部循環口より上のお好みの位置までためてください。

⚠ **ご注意ください**

●お風呂を沸かしているときに、停電になるとお風呂沸かしが停止します。通電後、再度、**運転スイッチ**を押し、**保温スイッチ**を押してください。

お願い ●浴槽に水をためずにお風呂沸かしを行うと、浴室リモコンに“252”が点滅し、運転が停止します。この場合は、**運転スイッチ**を「切」にし、浴槽に水をためてから再度**運転スイッチ**を「入」にしてお風呂沸かしを行ってください。

●浴槽のサイズによってはお風呂が沸く前に消火する場合があります。その場合は、もう一度**保温スイッチ**を押してください。

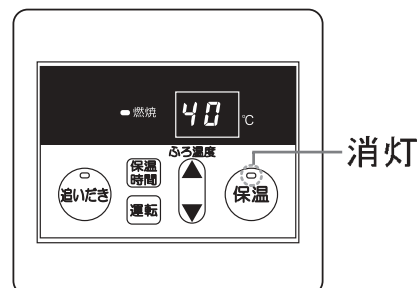
お風呂を沸かすには

■保温を行う お風呂沸かしが終了すると、設定した保温時間で保温をはじめます。

設定した保温時間内で、浴槽の湯温を保ちます。

気温等により、約15～30分の間隔でポンプが回り温度を検知し、温度が下がっていると自動的に設定風呂温度まで、お風呂を沸かして保温します。

設定した保温時間を過ぎると、「保温運転」が停止します。
浴室リモコンの保温ランプ(緑)が消灯します。



お風呂沸かし(保温を含む)を途中で停止したいときは

もう一度、保温スイッチを押します。保温ランプ(緑)と燃焼ランプ(赤)が消灯し、お風呂沸かしが停止します。

保温時間終了後に続けて保温をしたいときは

保温スイッチを押します。保温ランプ(緑)が点灯し、設定した保温時間内で保温をはじめます。

※保温時間1H以上の設定が必要です(→P. 8 参照)

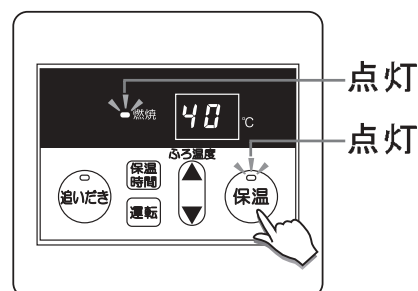
※“お知らせチャイム”の設定をしてある場合は、最初の沸き上がり時にチャイムが鳴ります。

■沸かし直しをするには 残り湯を沸かし直します。

残り湯を沸かし直したいときは、「お風呂沸かしを行う」(→P. 9 参照)と同じ手順で行ってください。

1 浴室リモコンの保温スイッチを押します。

浴室リモコンの保温ランプ(緑)が点灯します。
しばらくすると、燃焼ランプ(赤)が点灯し、お風呂沸かしが始まります。



⚠ 警告 ●お風呂の沸かし上げ中や保温中は、突然循環口より熱いお湯が出たり、循環口の周囲が熱くなっていることがあるので注意する。やけどのおそれがあります。

●入浴時には十分かきまぜて、必ず手で温度を確かめてから入浴する。



●保温中は、燃焼ランプ(赤)が点灯することがあります。

●お風呂沸かし後に保温の必要がない場合は、お風呂沸かしを追いだし運転することもできます。(→P. 11 参照)

●保温中に運転スイッチを押すと、保温運転が停止します。

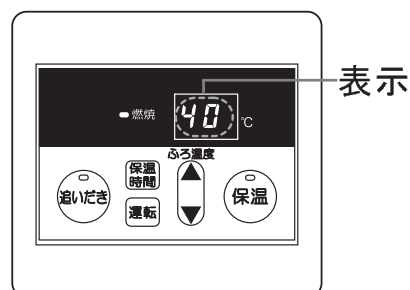
ぬるくなったお湯を熱くするには(追いだき)

浴槽のお湯がぬるくなったら、熱くすることができます。この機能を「追いだき」といいます。

■追いだきを行う

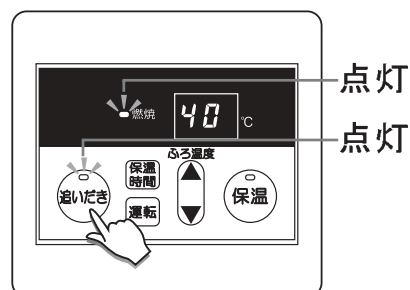
1 浴室リモコンが「入」になっていることを確認します。

表示されていないときは、**運転スイッチ**を押します。



2 追いだきスイッチを押します。 追いだきランプ(赤)が点灯します。 しばらくして、燃焼ランプ(赤)が点灯します。

運転が終わると、追いだきランプ(赤)と燃焼ランプ(赤)が消灯します。



追いだきを途中で停止したいときは

もう一度、追いだきスイッチを押します。

追いだきランプ(赤)と燃焼ランプ(赤)が消灯し、追いだき運転が停止します。

もっと熱くしたいときは

もう一度、追いだきスイッチを押します。

追いだきランプ(赤)と燃焼ランプ(赤)が点灯し、追いだき運転をはじめます。

⚠ 注意 ●追いだきの操作をするときは、浴槽の上部循環口より上に湯(水)があることを確認する。

🙏 お願い ●表示されているふろ温度と浴槽内の温度は、気温によって異なることがあります。目安としてお使いください。

✖ 注意 ●追いだきで停止の操作をしない場合、お湯の温度が設定ふろ温度より低い場合は、設定ふろ温度まで、お湯の温度が設定ふろ温度以上の場合は、現在温度+2°Cまで沸き上げて自動的に停止します。
●一度、追いだきをして自動停止し、もっと熱くしたいときは、もう一度**追いだき**スイッチを押してください。お好みの湯かげんになったら、**追いだき**スイッチを押して停止してください。
●保温中でも追いだきの操作ができます。

冬期の凍結予防をするには

凍結を予防するための操作について説明します。

- 機器が凍結すると、使用できなくなるばかりでなく、水漏れ、故障の原因となります。
- 凍結予防は、次のいずれかの方法で行ってください。

■凍結予防装置による方法（通常の寒さ）

この機器には、気温が下がってくると自動的に機器内を保温する凍結予防ヒータと、自動的に浴槽の水（湯）を循環して機器内や追いだし配管の凍結を予防する凍結予防装置がついています。そのため外気温-15℃程度までは、浴槽の残り湯を捨てずに機器の電源プラグをコンセントに入れた状態にしておけば、機器内の凍結は予防できます。これらの装置は、**運転スイッチ**の「入」/「切」に関係なく作動します。

寒波などで特に寒くなりそうなとき（外気温-15℃以下）は、機器内の水を抜く方法で凍結予防をしてください。

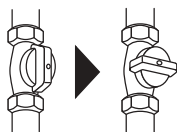


■機器内の水を抜く方法

入居前や長期不在で家のブレーカーを「切」にする場合や電源プラグを抜く場合には、この方法で凍結予防します。

- △ 注意**
- 使用後すぐに水抜きをしない。やけどのおそれがあります。
機器やお湯が高温になっていますので冷えてから行ってください。
 - 床などに水が流れて不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。

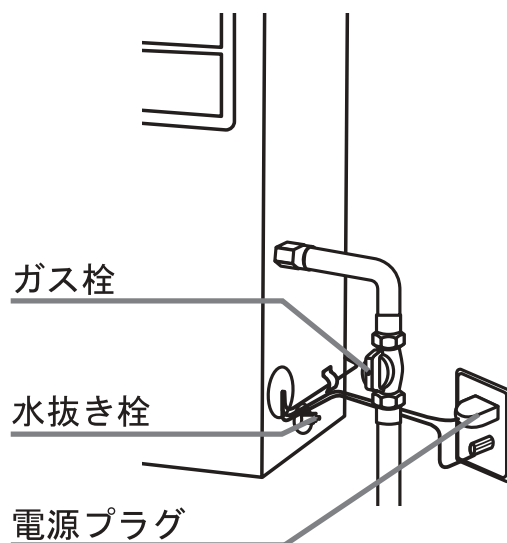
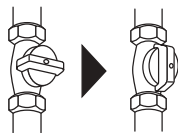
- 1 ガス栓を閉じます。
- 2 浴槽の水を排水します。
- 3 水抜き栓を水が出るまでゆるめます。
- 4 必ず、電源プラグを抜きます。
電源プラグを抜き忘れますと機器の故障の原因となります。



■再使用するとき

機器内の水を排水した後、しばらくして再度使用するときには次の操作をしてください。

- 1 水抜き栓を閉じます。
- 2 ガス栓を開けます。
- 3 電源プラグを差し込みます。



凍結したときは

- 凍結した場合、ガス栓を閉じてとけるのを待ち、一旦水漏れがないことを確認のうえ、ご使用ください。
凍結したまま運転操作をしますと機器に異常が生じる場合があります。なお、ご不明の場合は、お買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。
- 機器や配管が破損しますと、高額の修理代がかかる場合がありますので注意してください。

お願い

- 凍結予防装置は、電源プラグを抜くと作動しませんのでご注意ください。
- 凍結予防装置で凍結予防をしているときは、浴槽の残り湯を捨てないでください。また、残り湯が上部循環口の上まであることを確認してください。
- 水抜きの操作を行った後は、浴槽に水を入れないでください。
- 再使用するときは、水抜き栓を元通りに確実に閉じてください。閉じ方が不十分だったり閉じ忘れたりすると、そこから水漏れします。

故障かな？と思ったら

こんなとき

ここを調べてください

リモコンの画面に表示が出ない

電源プラグがコンセントに差し込まれていますか (→7ページ)
停電していませんか (→4ページ)

リモコンの燃焼ランプが点灯しない

浴槽に水が入っていますか (→9ページ)
ガス栓が全開になっていますか (→7ページ)
ガスメーター(マイコンメーター)がガスを遮断していませんか
LPガスの場合、ガスがなくなっていないですか

追いだき中に消火した

ガス栓が全開になっていますか (→7ページ)

浴槽の水があつい(ぬるい)

ふろ温度のセットは適切ですか (→8ページ)

それでもわからないときは
アフターサービスをお申し付けください。

こんなとき

故障ではありません

お湯が白く濁って見える

これは水中に溶け込んでいた空気が急に熱せられることにより、白く目に見えるような無数の細かい泡となって出てくる現象です。この気泡は汚濁とは違って、まったく無害なものです。また、時間の経過とともに自然に消えます。

浴槽が青く見える

湯アカが残っていると、水中の微量の銅イオンと化合して青く変色することがあります。掃除はこまめに行ってください。

寒い日排気筒トップから白い湯気が出る

外気温が低いときには排気ガスの水蒸気が白い湯気となりますが、故障ではありません。

保温中ときどきポンプが回る

浴槽のお湯の温度を検知するため、およそ15～30分間隔で回ります。

運転終了後もしばらくポンプが回る

「保温」「追いだき」運転終了後、かくはんのためポンプがしばらく回ります。

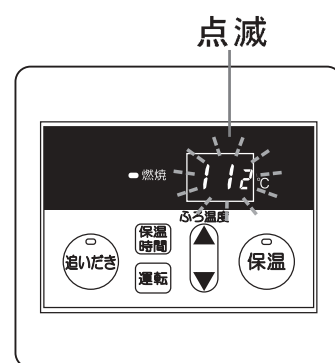
以上のことをお調べのうえ、なお異常のあるときはお買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。

故障かな？と思ったら

■浴室リモコンのアラーム表示

- 不具合が生じたとき、その原因をアラーム番号でお知らせします。原因に応じて表示画面にアラーム番号が点滅し、自動的に運転が停止します。
- アラーム番号が点滅したときは、お買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。そのときは、表示されているアラーム番号もお知らせください。

アラーム番号	内 容	処 置 方 法
032	未 対 応 ガ ス 種 選 択	修理を依頼する
052	給 気 フィ ル タ ー づ ま り	給気フィルターの掃除をする
	給 気 フィ ル タ ー 装 着 不 良	給気フィルターがしっかり取り付けられているかを確認する
112	ふ ろ 点 火 不 良	ガス栓確認後リセット操作
122	ふ ろ 燃 焼 失 火	
252	ふ ろ 水 流 ス イ ッ チ 異 常	
312	ふ ろ サ ー ミ ス タ 断 線	修理を依頼する
382	C O セ ン サ 異 常	
510	元 ガ ス 電 磁 弁 異 常	
512	ふ ろ ガ ス 電 磁 弁 異 常	
612	ふ ろ 燃 焼 フ ァ ン 回 転 異 常	
702	電 装 基 板 異 常	
712	ふ ろ 電 磁 弁 駆 動 回 路 異 常	
722	擬 似 炎 検 出	
752	浴 室 リ モ コ ン 通 信 異 常	
992	燃 焼 異 常	



リセット 操作

運転スイッチを一度「切」にし、3秒以上経過してから、運転スイッチを「入」にする。

■こんな場合には安全装置が働きます ()はアラーム番号

- 寒いとき、機器の電気ヒータが働き機器内の凍結を防止します。……………凍結予防装置
- バーナーが正常に燃焼しないときに作動し、ガスを自動的に停止します。…(122)立消え安全装置
- 電気回路に漏電が生じた場合に電気を停止します。……………漏電安全装置
- 機器の温度が異常に上昇した場合にガスを止めます。……………(122)過熱防止装置
- 不完全燃焼を防止します。……………(992)不完全燃焼防止装置

長期使用製品安全点検制度

■長期使用製品安全点検制度について

この製品は消費生活用製品安全法（消安法）で指定された特定保守製品です。

- 特定保守対象製品には「特定保守製品」と記載された定格銘板、または銘板が製品に貼り付けられています。
- 特定保守製品とは『消費生活用製品のうち、長期間の使用に伴い生ずる劣化（経年劣化）により安全上支障が生じ、一般消費者の生命または身体に対して特に重大な危害を及ぼすおそれが多いと認められる製品であって、使用状況等から見てその適切な保守を促進することが適当なもの（消安法第2条第4項）』として指定された製品です。

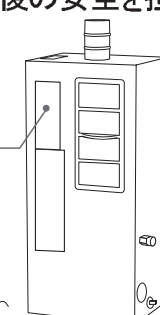
■法定点検（有料）について

特定保守製品は、経年劣化による重大事故を防止するために、製品ごとに設定された点検期間中に点検を受けることが製品の所有者の責務として求められています。（消安法第32条の14）この製品に表示してある点検期間になったら、忘れずに点検を受けてください。なお、法定点検後も機器を継続して使用する場合には、こまめに（年1回程度）点検を受けることがこの機器を安全にご使用いただくために必要となりますので、ご注意ください。

また、法定点検は、法定点検の基準に製品が適合しているかどうかを確認するものであって、その後の安全を担保するものではありません。

- この製品の点検期間は右図のように表示しています。
 - この製品は設計標準使用期間10年の前後1年間を法定の点検期間として設定しています。
- 点検期間には忘れずに法定点検（有料）をご依頼ください。

GF-A130EA 特定保守製品	
特定製造事業者名	特定製造事業者等 高木産業株式会社
住所	静岡県富士市西柏原新田201番地
製造年月	2009年 4月
設計標準使用期間	10年
点検期間	2018年 4月～2020年 3月
問合せ連絡先	点検受付センター
フリーダイヤル	0120-323-884
登録コード	0000-0000-0000-0000



■所有者登録について

特定保守製品の所有者は、この製品の製造事業者に法定の所有者登録をすることが求められています。（消安法第32条の8第1項および第2項）

下記、所有者登録の方法をご覧になり、いずれかの方法で、ご登録をお願いします。

また、引越し等で住所が変わった場合や所有者が変わった場合など、所有者登録の内容に変更が生じた場合は、速やかに登録内容の変更をお願いします。変更のご登録をしない場合は点検通知が届きません。

所有者登録情報に関するお問い合わせは「■法定点検の連絡先について」（→P. 16）をご覧ください。

なお、ご登録いただいた所有者情報は、消安法、個人情報保護法および弊社規定により、適切な安全対策の元に管理し、法定点検・リコール等製品安全に関するお知らせをする場合以外には使用いたしません。

所有者登録の方法 以下のいずれかの方法で登録を行います。

所有者票（返信はがき）で登録する

- 添付の所有者票に必要事項をご記入の上、投函してください。



インターネット（パソコン）で登録する

- ホームページ（<https://user.purpose.jp/takagi/pcIndex.jsp>）へアクセスし、画面の案内に従って登録をお願いします。



モバイル（携帯電話）で登録する

- 添付の所有者票のQRコードを読み取り、携帯サイトの画面に従って登録を行ってください。ご使用中の携帯電話がQRコードに未対応の方やURLがうまく受信できない方は、所有者票（返信はがき）またはインターネット（パソコン）での登録をお願いします。



※所有者登録は聞き間違い等による誤登録を防ぐため、お電話での受付はしていません。

法定点検通知について

- 法定の所有者登録をいただいた方に、法定点検の通知をいたします。（消安法第32条の12）通知は弊社から、はがきにて送付します。
- 法定点検に関するお問い合わせは、「■法定点検の連絡先について」（→P. 16）をご覧ください。

長期使用製品安全点検制度

■この製品の設計標準使用期間について

この製品の設計標準使用期間は10年と算定しており、適切な点検をすることなく、この期間を超えてご使用になると、経年劣化による一酸化炭素中毒や火災等の事故に至るおそれがあります。

設計標準使用期間とは

標準的な使用条件（下記の「設計標準使用期間の算定の根拠」参照）の下で、適切な取り扱いで使用し、適切な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間で、製品ごとに設定されるものです。（消安法第32条の3） 無償保証期間とは異なります。

設計標準使用期間の算定の根拠

この製品の設計標準使用期間は、製造年月を始期とし、JGKAS C 301「家庭用ガスふろがま・石油ふろがまの標準使用条件及び標準加速モード並びにその試験条件」の「4 a) 標準加速モード」に従って以下の標準使用条件で、耐久試験を行い、経年劣化により安全上支障が生ずるおそれが著しく少ないことを確認した時期を終期として設定しています。

標準使用条件			
家族構成	4人世帯	ふろの沸かし上げ/日	1回(15℃から40℃)
入浴回数/日	1回	保温(追いだき)/日	2回(38℃から40℃)
浴槽の標準水量	180ℓ	使用日数/年	365日
電源電圧/周波数	100V(50Hz/60Hz)		

！ご注意ください

- 上記の標準的な使用条件を超える使用頻度や異なる使用環境（高温・多湿・寒冷地・海岸近辺（塩害地域）・高地（海拔1,000m以上）・温泉水・井戸水・地下水使用など）などで使用した場合は、設計標準使用期間よりも早期に安全上支障を生じるおそれが多くなることが予想されますので、製品に表示している点検期間より早期の点検を実施してください。お客様ご自身が思い当たる場合や気になる点がある場合は下記にご連絡ください。

■法定点検の連絡先について

所有者登録情報の変更・法定点検に関するお問い合わせ・法定点検の点検作業のご依頼

パーパス点検受付センター フリーダイヤル：0120-323-884 受付時間/年中無休 9:00～17:00

- 点検費用はお客様にご負担いただくこととなります。点検料金につきましては、パーパス点検受付センターへお問い合わせください。また、点検の結果、整備・修理が必要となった場合は別途費用が発生します。
- 法定点検は全国146箇所のサービス店で対応いたします。また、ホームページ（<http://www.purpose.co.jp/>）からもご確認いただけます。

■部品の保有期間について

この機器の部品の保有期間は以下の通りです。

部 品	保 有 期 間	部 品 内 容 (部 品 名)
点 検 に 係 わ る 整 備 用 部 品	11年	点検の結果必要となると見込まれる部品です パッキン・Oリング・点火プラグ・イグナイター・フレームロッド・ハイリミットスイッチ・温度ヒューズ・COセンサ・温度検出サーミスタ・給気フィルター
補 修 用 品 性 能 部 品	6年	機器の機能を維持するために必要となる部品です

点検のポイント・お手入れのしかた

■定期点検のおすすめ(有料)

- 機器を安心してより長くご使用いただくために、法定点検の他に1年に1回程度の定期的な点検を受けることをおすすめします。点検はお買い上げの販売店、または弊社窓口へご相談ください。
また、日常の点検およびお手入れについては「点検のポイント・お手入れのしかた」(→P. 17~18)をご覧ください。
- 機器が古くなると熱交換器やバーナーにサビやスス、ほこり等が詰まったりします。このような場合不完全燃焼を起こすことがあります。ときどき使用中に異常(異常音、排気に不快なおい、目にしみる等)がないか確認してください。異常に気づかれた場合は使用を中止し、ガス栓を閉じてお買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。

■点検・お手入れの際のご注意

- 安全に正しくお使いいただくために、点検とお手入れは定期的に行ってください。
- 点検、お手入れの前には必ずガス栓を閉じ、機器が冷えてから行ってください。
- フロントカバーを外したり、分解したりしないでください。
- お手入れの際、怪我などしないよう、指先には十分注意してください。



分解禁止

■点検のポイント(月1回程度)

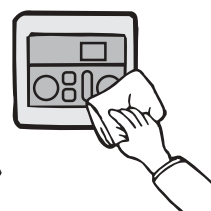
次の12のポイントで点検してください。

- 1 機器および循環パイプから水漏れはありませんか?
水漏れは、機器の故障だけでなくお隣や階下の方にも多大な迷惑をかけます。
- 2 機器および配管からガスの臭気がしませんか?
- 3 運転中に機器から異常音が聞こえませんか?
- 4 機器の外観に異常は見られませんか?
- 5 機器のまわり、および排気筒・排気筒トップのそばに燃えやすいものはありますか?
また、整然とされていますか?
機器のまわりに雑草や木くず・箱などで雑然としていいると、機器の内部に害虫(ゴキブリなど)が浸入したり、くもの巣がよったりして、機器の故障などの原因になる場合があります。
- 6 浴槽に循環口フィルター・循環カバーがついていますか?
- 7 排気筒トップへの積雪や、屋根から落ちた雪により排気筒トップが塞がれていませんか?
排気筒トップが塞がれていると、機器が不完全燃焼することがあります。
積雪時には排気筒トップの点検、除雪を行ってください。屋根から落ちた雪が排気筒トップを塞ぐおそれがあるときはお買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。
- 8 排気筒(排気筒トップを含む)の損傷や詰まり、外れていることはありませんか?
- 9 給気フィルターに、ごみ・ほこりが詰まっていますか?
- 10 給気フィルターの変形・破損はありませんか?
- 11 給気フィルターが機器に確実に装着されていますか?
- 12 給気フィルターが物などで塞がれていませんか?

■お手入れのしかた(月1回程度)

機器本体および浴室リモコンのお手入れ

- 汚れは、水に濡らしたやわらかい布をかたく絞って、軽く拭きってください。
- シンナー・ベンジンなどは使わないでください。変色・変形する場合があります。



お願い

- 洗剤およびシンナー・ベンジンなどでは、拭かないでください。
- 浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。

点検のポイント・お手入れのしかた

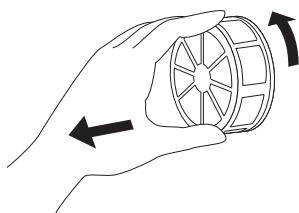
■お手入れのしかた

循環口フィルターの掃除（こまめに掃除）

浴槽をお掃除するときは循環口フィルターも掃除してください。循環口フィルターには、湯アカや毛、タオルのくずなどが意外と多くたまります。循環口フィルターの汚れがひどいと、循環量が弱まったり、お風呂沸かしや追いだき運転ができなくなります。

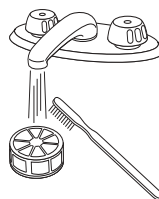
循環口フィルターの外し方

- 循環口フィルターを左に回して手前に引きます。



循環口フィルターを掃除する

- 歯ブラシなどで洗います。



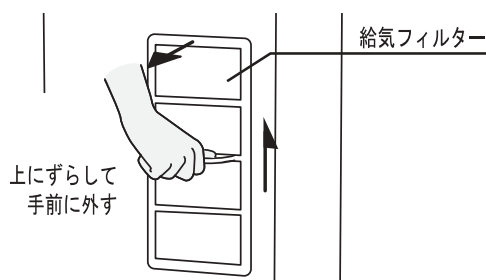
- 掃除後、循環口フィルターを元のように取り付けます。

給気フィルターの掃除

給気フィルターにほこりやゴミがつまると、浴室リモコンの表示画面にアラーム番号 052 が点滅し、“ピッピッピッピ・・・”と鳴ります。給気フィルターはときどき掃除してください。アラームブザーの停止は、運転スイッチを押して行ってください。

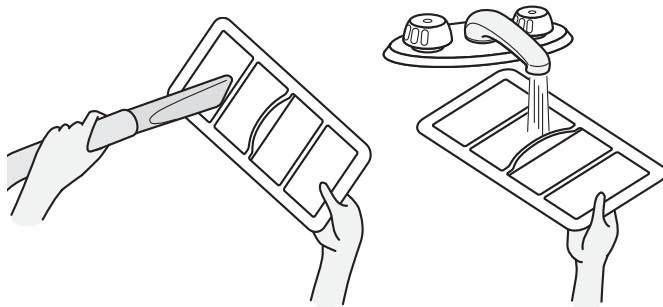
給気フィルターの外し方

- 運転スイッチを押して浴室リモコンを「切」にします。
- 上にずらして手前に引くと給気フィルターが外れます。



給気フィルターを掃除する

- ほこりやゴミを掃除機で軽く吸い取るか、水洗いします。



- 元のように取り付けます。
濡れている場合は、よく乾かしてから取り付けてください。

お願い

- 循環口フィルターは必ず取り付けてご使用ください。循環口フィルターを付けないで運転するとポンプ等の故障の原因となります。
- ベンジン・シンナー・みがき粉などで拭いたり、液状殺虫剤や熱湯などをかけないでください。
- 給気フィルターを外したままでは使用できません。また、ぬれたまま取付けて使用しないでください。故障の原因となります。

仕様一覧

〔仕様表〕

項	目	内容
品	名	GF-A130E
型	式	GF-A130E
外形寸法(mm)/質量(kg)		幅275×奥行220×高さ620/13
給排気方式		強制排気方式
設置方式		屋内設置形(浴室外)
温度調節		温度設定可変型
点火方式		AC100V連続放電式(ダイレクト着火)
接続 電気関係	ガス	15A(R1/2) TU接続
	循環パイプ	GL160mm-100mmピッチ：φ45mm×2
	電源	AC100V(50/60Hz)
	リモコン側	24V以下
	消費電力	無負荷時 4.6W 使用時 122W/147W
	凍結予防時	電気ヒータ：17W, ポンプ運転：94W/118W
	電源コード/浴室リモコンコード	VCT(2心)機外長1.5m/(2心)機外長2m
安全装置		空だき防止装置(水流スイッチ) ファン回転検出装置(回転数検知方式) 立消え安全装置(フレームロッド) 空だき安全装置(ハイリミットスイッチ) 不完全燃焼防止装置(COセンサ) 過熱防止装置(温度ヒューズ) 漏電安全装置(漏電スイッチ) 誘導雷保護装置(サージアブソーバ) 凍結予防ヒータ、ポンプ運転(凍結予防装置)

〔能力表〕

使用ガス 使用ガスグループ		1時間あたりの ガス消費量 kW{kcal/h}	沸き上がり終了時間(分) 浴槽180ℓの場合			ガス 接続
			春・秋 (15→40℃)	夏 (25→40℃)	冬 (5→40℃)	
都市 ガス	13A	15.1 {13,000}	26	16	37	15A (R1/2)
	12A	14.1 {12,100}	28	17	40	
LPガス		15.1 {1.08kg/h}	26	16	37	

◎ガス：JISに規定する標準ガス・標準圧力のとき。

◎本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。

◎沸き上がり時間は実際とは異なる場合がありますので、目安としてお使いください。

アフターサービスについて

サービスを依頼されるときは

- 13～14ページの「故障かな？と思ったら」の項を確認ください。それでも直らない場合、あるいはご不明の場合には、ご自分で修理なさらないで、お買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。
- アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。
 - (1) 氏名・住所・電話番号・道順（付近の目印等）
 - (2) 品名：GF-A130E
（ガスの種類例えば13A）
 - (3) 現象（故障または異常内容、アラーム表示などできるだけ詳しく）
 - (4) 訪問ご希望日

※弊社窓口は、商品保証書の下段をご参照ください。

保証について

- 取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。
- 必ず「販売店名・購入日」等の記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間について

- この製品の補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の保有期間は製造打切り後6年です。ただし、保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は有料で修理いたします。

転居または機器を移設される場合

- ガスの種類および電源、周波数が異なる地域へ転居される場合は、調整、改造の必要があります。お買い上げの販売店、または転居先のガス会社へご相談ください。
- 増改築などのため機器を移設される場合、工事には専門の技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。
- 設置場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きく伝わらないような場所をお選びください。また、排気筒トップからの温風や機器本体の運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。
- 転居、移設にともなう調整や工事の費用は、保証期間内でも有料となります。

アフターサービス等についてわからないとき

- お買い上げの販売店、または弊社窓口へお問い合わせください。

※弊社窓口は、商品保証書の下段をご参照ください。

長期間使用しない場合

- 長時間使用しない場合は次の操作をしてください。
 - (1) ガス栓を閉じます。
 - (2) 機器の水抜きを行います。（→P. 12参照）
 - (3) 電源プラグを抜きます。



メモ

ガスふろがま

パーパス 商品保証書

品名 GF-A130E

お買い上げ日		年 月 日	保証期間	1 ヶ年
お客様	ご住所	TEL 様		
	ご芳名			
販売店	住所名	TEL	(印)	

お客様へ

●この保証書をお受取りになるときに販売年月日、販売店名、扱者印が記入してあることを確認してください。

●本証書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保管してください。

上記機器をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書はお客様の通常のご使用により万一故障した場合には、本書記載内容で無料修理をお約束するものです。

記

- (1) 保証期間は上記品名の機器をお買い上げの日から表記の期間とし機器本体を対象とします。
- (2) 万一故障の場合はお買い上げの販売店、または弊社修理受付センターへお申し出ください。原則として出張修理をいたします。なお、離島および離島に準ずる遠隔地へのお出張修理を行った場合、出張に要する実費を申し受けます。
- (3) サービス員が参上したときに本証書をお示しください。紛失されますと有料修理となる場合があります。
- (4) 保証期間中でありましても次の場合には有料修理となります。
 - (イ) 当製品の取扱説明書、又は貼付ラベル等のご案内によらないでご使用になり故障した場合。
 - (ロ) 当製品の工事説明書によらないで施工されたり、専門業者以外による修理、移動、改造等を行ったことにより故障した場合。
 - (ハ) 設置環境の経年変化に伴う故障、及び塗装の色褪せ・摩擦等により生ずる機能に影響ない変化。
 - (ニ) 海岸付近・温泉地等の地域における腐食性の空気環境に起因する機能に影響ない変化。
 - (ホ) ねずみ・くも等の生物活動に起因する故障。
 - (ヘ) 住宅用途以外(例えば業務用・船舶・車両上でのご使用)にてご使用された場合の故障。
 - (ト) 火災・地震・洪水・落雷等の天変地異、凍結、又は暴動等の破壊行為による故障。
 - (チ) ガス・電気の供給トラブルによる故障。
 - (リ) 熱量変更、又は移動等に伴う調整、確認作業。
 - (ヌ) 温泉水・井戸水などであって水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水をご使用になったことによる故障。
- (5) 本書は、日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- (6) この保証書によって保証書を発行している者、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- (7) 商品や修理以外のお問い合わせ等はお買い上げの販売店、または弊社お客様相談室へお問い合わせください。

高木産業株式会社

〒417-8505 静岡県富士市西柏原新田201

弊社窓口

修理受付センター(修理受付のみ)	点検受付センター(点検受付のみ)	お客様相談室(修理・点検以外や商品のお問い合わせ等)
TEL 0120-260-884(通話料金無料)	TEL 0120-323-884(通話料金無料)	TEL 0545-32-1389
携帯電話からは 03-5682-4545 へおかけください。	携帯電話からは 0545-32-1389 へおかけください。	受付 平日 9:00 ~ 19:00
受付時間:年中無休 24時間修理受付	受付時間:年中無休 9:00 ~ 17:00	時間 土曜日・日曜日・祝日 9:00 ~ 17:00

ご連絡いただいた個人情報、弊社規定によりお問い合わせ対応に必要な範囲内で使用します。お問い合わせ内容につきましては、個人を特定できないデータに加工した後、サービス向上等のために利用いたします。